

こっこめ通信 08 2026

「暑すぎる夏はイヤ」号



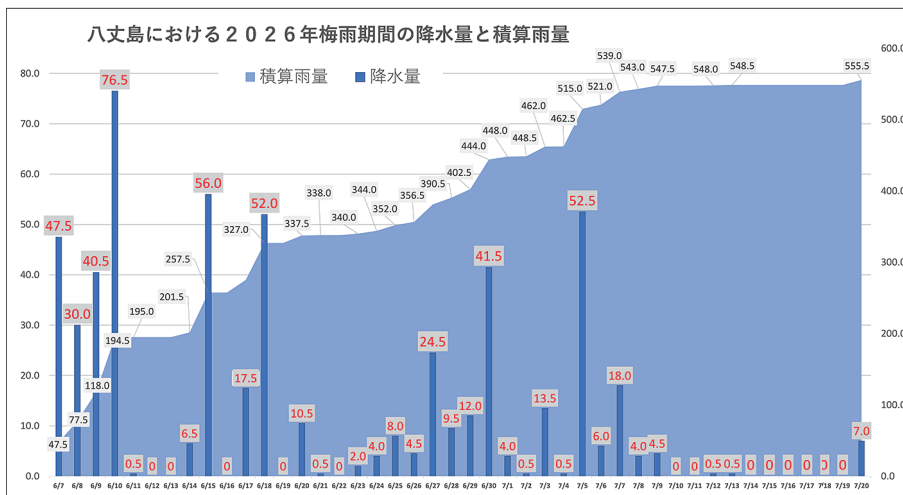
八丈島ではアカコッコのことを親しみを込めて「こっこめ」とよびます。

昨年秋に島を直撃した台風被害からの観光復興キャンペーン「復幸旅！八丈島」が7月末まで続きました。たくさんの方が観光に来てくださり、ビジターセンターの7月の来館者は5,000人を大きく上回り、7月としては過去最高となっています。さすがに少し疲れましたが、このまま夏を突っ走り、スタッフ一同頑張ります！今回は「ようやくの梅雨明けから…」「夏休み行事が始まった！」「ゆるり自然観察会『香りを楽しむ』」についてのお話です。

ようやくの梅雨明けから…

7月20日、「関東甲信と東海が梅雨明けしたとみられる」と気象庁から発表がありました（速報値）。この発表で八丈島も正式に梅雨明けとなります。

今シーズンの梅雨を振り返ってみると、速報値ですが梅雨入りが6月7日、梅雨明けが7月20日で、ほぼ平年並みの日数になっています。降水量は、555.5mmとかなりの量があり、特に6月は天候の悪い日が多く、日の降水量が40mm以上の日が6日もありました。下のグラフを見てみると梅雨後半の雨は少なく、7月10日以降はほとんど降っていません。日が出ている時間もあったので、八丈島としてはこの辺りが梅雨明けになっていたのかもしれませんが。6月19日に初鳴きだったツクツクボウシは、この頃にはあちらこちらで鳴き声が聞こえてきていました。



7月の日最低気温の高いランキング

1位	27.5℃	2026/ 7/30
	27.5℃	1942/ 7/28
3位	27.4℃	2026/ 7/31
4位	27.3℃	1942/ 7/29
5位	27.1℃	2026/ 7/23
	27.1℃	1942/ 7/30
7位	27.0℃	1991/ 7/29
8位	26.9℃	2026/ 7/22
	26.9℃	1944/ 7/18
10位	26.8℃	2024/ 7/31

実は6月7日の梅雨入りよりも前から雨の降る日が多く、5月の中旬から梅雨のような天候でした。6月は6号・7号・8号の3つの台風が接近し、月の降水量は平年の390.3mmを上回る505.0mmにもなっています。さらに月間日照時間が49時間と、6月としては2番目に少ない記録になっています。日照が少ないため、島民からは「陽が照りんのうて、野菜がちっとも育ちんなか（島言葉）」という声をたくさん聞きました。

梅雨明け後も湿った上空の雲が抜けず、7月21日以降は、島では珍しい熱帯夜で日中も30℃以上の猛暑日という日が続きました。八丈島における「7月の日最低気温の高いベスト10」の中に27.5℃（1位）の30日、27.4℃（3位）の31日、27.1℃（5位）の23日、26.9℃（8位）の22日と今年の4日がランキング入り。ちなみに27日の最高気温32.7℃は7月の日最高気温の高い8位です。（統計期間は1906年6月から2026年7月まで）夏でも夜は涼しい風が吹くはずの島で、これほど熱帯夜が続くと体へのダメージが大きいです。（H.T.）

「アカコッコ」は日本固有のツグミ科の鳥で、国の天然記念物に指定されています。八丈島では一年を通して見られ、町の鳥にも選定されています。

夏休み行事が始まった！

7月26日「親子で夜の昆虫観察会」

人気な行事なこともあり定員15名のところ、少し増やして18名で実施した夜の昆虫観察会は、「昆虫がいない！見つからない！」という寂しい行事になってしまいました。例年以上に園路で見られるのはサツマゴキブリとアマミサソリモドキ。アマミサソリモドキはいろいろな生きものを捕食中の姿が見られ、それはそれで良かったのですが。結局盛りあがったのは、タコノキの実トラップにいたハチジョウコクワガタ（写真下左）とライトトラップに大量に集まったアオドウガネ（写真下右）でした。

それでも参加者の頑張りもあり、最終的には12種の昆虫を採集してくれました。（ハチジョウトガリナナフシ♂・♀、トゲナナフシ、サツマゴキブリ、オオシマツヤハナムグリ、アオドウガネ、クロコガネ、フキバツタの仲間、タイワンクツワムシ♀、オンブバッタ、キマワリ、ハチジョウコクワガタ、アヤムネスジタムシ）

参加した子供たちからは、「楽しかった」「クワガタが捕まえられて良かった」などの感想がありました。



7月29日「潮だまり探検隊①」

潮だまりの行事は、干満の差が激しくなる大潮の日を選んで実施します。今年は八丈島が黒潮の中に入っているため、潮位が高く、潮だまりができにくく、開催場所に苦労しています。大潮に合わせるため、曜日に関係がなく企画しなければならず、今年も週中の開催となってしまいました。それでも5組14名の申込みがありましたが、開催日当日は夜明け前から雷雲を伴った線状降水帯が接近し、島内のあちこちで落雷が発生、安全を考慮して残念ながら中止としています。

そこで天候が回復した翌日に、大湊浦周辺の潮だまりの様子を見に行ってみました。潮だまりの生き物はレギュラーメンバーに加え、季節来遊的な生きものも入ってきます。年によってはチョウチョウオ系の幼魚がたくさん見られることもありますが、今年は全く確認できません。シマハギの姿も少なかったです。それでも、ハゼ系やカエルウオ系、メジナ系の幼魚はたくさん見られました。

30mm前後の魚を採取して撮影してみました。上から見るとみんな同じように見えますが、「スジクモハゼ」「クロヤハズハゼ」「タネギンポ」の3種類でした。5mmほどの小さな貝に入った「スベスベサングヤドカリ」もたくさんいましたよ。秋になると潮だまりの生きものも大きくなって見分けがつけやすいかもしれません。

今年は8月12日に「潮だまり探検隊②」を開催予定です。潮だまりの生きものに興味がある方は、是非お申し込み下さい。大人だけの参加もOKです。（H.T.）



クロヤハズハゼ



スジクモハゼ



タネギンポ

ゆるり自然観察会「香りを楽しむ」

今回のゆるり自然観察会は「香りを楽しむ」をテーマに、参加者4名とともに花・実・葉など植物が持つ多様な香りを体験しました。香りの感じ方は人によって異なるため、甘い・独特・弱い・強いなどの印象を簡単なグラフにし、参加者の皆さんに色つきシールで貼っていただきました。

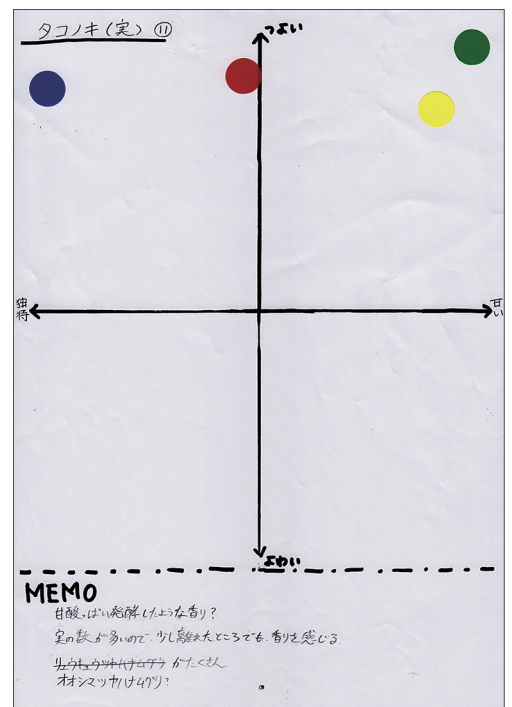
まず花の香りについて簡単に解説した後、ビジターセンターを出発し、メインエントランス、ブーゲン広場、メインストリートへと歩きながら、気になった植物の香りを次々と観察しました。

メインエントランスではタコノキの実が多く落ちている場所があり、近づくだけで甘酸っぱく発酵したような香りが漂い、オオシマツヤハナムグリが集まっていました。参加者の評価は「甘い香り」「独特な香りで苦手」など大きく分かれ、グラフ上でもシールがばらける結果となりました。

他にもブーゲン広場へ向かう途中、園路から離れた場所で咲くクロツグの香りをスタッフが感じ取ったので、できる限り近づいて確認しましたが、私と参加者1名は香りを捉えられず…。別の参加者は甘い香りをしっかりと感じ取っていたようです。また近くにはジャゴケがあり、少量を剥がして表裏の香りを体験してもらうと、裏側は土の香り、表面は微かに独特な香りがあることを確認できました。

今回観察して香りを楽しんだ植物は約30種で、そのうち26種はグラフにして全員で共有することができました。日差しが強く暑さを感じる時間帯もありましたが、予定より広い範囲を参加者の皆さんと一緒に、ゆったりとした雰囲気の中で香りを楽しむことができました。

次回のゆるり自然観察会は、8月は熱中症のリスクが高いためお休みし、9月13日に「鳴き声の主」をテーマとして実施予定です。(K.T.)



タコノキの実（写真左）と香りグラフ（上）

八丈島では、内地と少し様変わりした種や独自に進化した種など、聞き慣れない種があるのが特徴です。今回は、観察会でタコノキの実についていた「オオシマツヤハナムグリ」にスポットを当ててみたいと思います。



オオシマツヤハナムグリ（基亜種）

Protaetia oschimana

コガネムシ科シロテンハナムグリ属。以前はリュウキュウツヤハナムグリの亜種のひとつとされていたが、総合分類学的再検討により種として扱われるようになりました。論文によれば幼虫での識別も可能とのことです。翅端部がかなり突き出ているのが特徴です。八丈島では国内外来種で1985年が初記録とされています。

ここ数年、ウミネコが捕食するようになってきました。(H.T.)

2026
08

ハチビジターセンター プログラムカレンダー

日付の下に書かれている時刻は、八丈島(神湊)の潮の満ち引きの時刻です。
また日付の横は月の満ち欠けです。

日	月	火	水	木	金	土
						1 ガイドウォーク
2 ガイドウォーク 夏休み特別行事 「植物公園 ナイトウォーク」	3	4	5 ●	6	立秋 7	8 ガイドウォーク
9 ガイドウォーク	10	11 山の日 ガイドウォーク	12 夏休み特別行事 「潮だまり探検隊」	13 ●	14	15 ガイドウォーク
16 ガイドウォーク 夏休み特別行事 「植物公園 ナイトウォーク」	17	18	19 ●	20	21	22 ガイドウォーク 八丈学講座「水槽を じっくり見てみよう！」
処暑 23 ガイドウォーク 子供クラフト「自然色 のクレヨンを作ろう」	24	25	26	27	28	29 ガイドウォーク
30 ガイドウォーク 子供クラフト「くるく るアニメを作ろう」	31					この色の日は ガイドウォークや 特別行事があります

イベントプログラム

夏休み特別行事 「植物公園ナイトウォーク」	夜の公園を歩きながらみんなで生き物を探したり、星を観望するイベントです。 8/2(日)、8/16(日) (19:30～20:30) だれでも メインエントランス駐車場集合・解散 参加費：50円 定員：15名
夏休み特別行事 「潮だまり探検隊」	潮だまりでいろいろな生物を採集してみんなで観察します。大人だけの参加もOKです！ 8/12(水) (10:00～11:30) 小学生以上(小学生は保護者同伴、未就学児の同伴不可) 集合場所：当日決定 参加費：50円 定員：15名
八丈学講座 「水槽をじっくり見てみよう」	毎月行っている八丈学講座。展示水槽をみんなで観察します。解説員が随時解説していきます。 8/22(土) (13:30～ 約1時間半) だれでも ビジターセンター 参加費：無料
子どもクラフト 「自然色のクレヨンをつくろう」	八丈島で採取した自然の材料を使ってクレヨンをつくります！ 8/23(日) (13:30～15:00) 小学生以上(小学生3年生以下は保護者同伴) ビジターセンター集合・解散 参加費：無料 定員：10名
子どもクラフト 「くるくるアニメをつくろう」	円盤を回すと絵が動いて見える！？「おどろき盤」というアニメーション装置をつくります！ 8/30(日) (13:30～15:00) 小学生以上(小学生3年生以下は保護者同伴) ビジターセンター集合・解散 参加費：無料 定員：10名
植物公園ガイドウォーク	解説員が植物公園内をご案内します。 毎週 土日祝日及び休日、(10:30～ 約1時間) だれでも参加できます。 ビジターセンター集合・解散 無料 定員：10名

ビデオプログラム

10:00～	八丈・海・生きものたち
11:00～	おじゃりやれ 八丈島
14:00～	おじゃりやれ 八丈島
15:00～	おじゃりやれ 八丈島
16:00～	八丈・海・生きものたち
上記以外での上映は予約にて可能です	

東京都八丈ビジターセンター 2026.8.1 第303号

開館時間 9:00～16:45 年中無休(入場無料)
〒100-1401
東京都八丈島八丈町大賀郷2843
電話：04996-2-4811 Fax：04996-2-4888
<https://www.tokyo-park.or.jp/park/hachijo/>

編集後記

7月29日、夜明け前から八丈島に線状降水帯がかかり、落雷が多数発生しました。植物公園にも落雷があり、通信機器などに障害が出ました。そのため、電話の不通、映像の上映中止、ホームページなどの情報発信が滞ってしまい申し訳ありませんでした。(H.T.)